

「帰る場所」 <先週の講壇より>

「母の胎から出て来たように人は裸で帰って行く。」伝道の書 5:15 【共同訳】(共同訳では 14 節)

自動車の故障で、教会と自宅の行き来は最近はずっかりバスになっています。そんなある日のこと、自宅近くの停留場から料金を払ってバスに乗ろうとすると、「今日はフリーですよ」と運転手さんが言うではありませんか!? 「えっ?」と思いつつも、とにかく言われた通り何も支払うことなく乗り込むと、すぐにスマートフォンで「なぜ今日はバスが無料なのか」と調べてみました。するとその日は「California Clean Air Day」とのこと。つまり、自家用車に乗ることをなるべくひかえて、公共交通機関を使用したり、カープールをしったりして、排気ガスを減らしましょう、という日だったのです。そういうことで、キャンペーンの一環として、一日中バスが無料乗り放題! それを知った私は、訪問や買い物など、様々な区間でどんどんバスを利用して、お得な一日を過ごしたのです。

このことを知っているのと知らないのとでは、大違いです。聖書のメッセージは、それどころではない。私たちにとって帰る場所があるということ、永遠の命があるのだということ、これを知ってるのと知らないのとでは、今日を明日を生きるということにおいて大きな違いがあるということを改めて思うものです。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2025 年 10 月 12 日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは世の光です。」

マタイ 5:14

☆集会案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:30

聖書クラス : 10:45-11:45

現在第四または第五週

第一と第三は祈り会／初心者クラス

